

共通点検・評価チェックリスト

政府統計コード	00600690
基幹・一般の別(選択記入)	一般統計調査
調査の名称	幹線旅客流動実態調査（幹線鉄道旅客流動実態調査）
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="checkbox"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="checkbox"/> 月例経済報告に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> ○ 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> その他
特記事項	

I 調査計画との整合性確保等の観点	点検・評価事項等 点検・評価項目	調査計画との整合性		不整合が生じている場合の対応状況			
		整合／不整合 (選択記入)	「整合／不整合」欄が「不整合あり」の場合、 その概要等(選択・自由記入)		対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
	1 調査の目的	整合	結果の利活用実態 (特記事項)				
			その他 ()				
	2 調査対象の範囲※	整合	調査対象地域 (特記事項)				
			その他 ()				
	3 報告を求める個人又は法人 その他の団体(報告者)の数等※	整合	母集団情報 抽出方法・抽出基準				
			全数層・抽出層の設定 対象数の算定				
			その他 ()				
			(特記事項)				
	4 報告を求める事項及びその 基準となる期日又は期間※	整合	調査票 調査期日・期間				
			その他 ()				
			(特記事項)				
5 報告を求めるために用いる 方法※	整合	調査方法 調査系統・組織					
		民間委託の範囲 その他 ()					
		(特記事項)					
6 報告を求める期間※	整合	調査実施期間(始期・終期) 調査の周期					
		その他 ()					
		(特記事項)					
7 集計事項※	不整合あり	○ 未集計 ○ 未公表		調査計画の変更 申請	対応中/対応予 定	「平日年拡大値」については、他の集計項目(平休年 拡大値)と重複するため未集計。第4回から「平日拡大 値」に代わる「平休年拡大値」を公表しており、過去に 平日のみ調査を行っていた集計事項が調査計画に残った ままになっているもの。 「列車別」及び「空港別発着旅客数」に関する集計項 目については、未公表。※統計法第3条第4項の規定(公 的統計の作成に用いられた個人又は法人その他の団体に 関する秘密は、保護されなければならない。)により未 公表。 いずれも次回調査の承認時に当該集計事項は削除を予 定。	
		復元推計 その他 ()					
		(特記事項) 平成27年調査結果について、一部未集計・未公表となっている集計項目(平日年拡大値、列車別、空港別発着 旅客数)があった。					
8 調査結果の公表の方法及び 期日※	整合	公表実施時期 公表媒体				なお、現在は直近調査分(平成27年度)まで公表済み	
		○ e-statの掲載 閲覧表					
		その他 ()					
		(特記事項)					
9 使用する統計基準	整合	独自基準の採用 独自基準の説明					
		その他 ()					
		(特記事項)					
10 調査票情報の保存期間及び 保存責任者	整合	保存期間 保存責任者					
		保存方法 その他 ()					
		(特記事項)					
11 立入検査 (基幹統計調査のみ)	非該当	立入検査対象事項 (特記事項)					
12 不整合は生じていないものの、 改善を検討(予定)している事項		検討(予定)している事項の有無 (選択記入)		対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)	
		検討(予定)している事項の概要 (自由記入)					

(注) 「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施。

Ⅱ 必要な精度の確保・向上の観点	1 調査の実施目的を確保するための精度管理の実施状況	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
		精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択 (複数選択可)	目安としている指標の具体的な設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている指標の設定時期 (自由記入)	今回調査	前回調査	前々回調査
		<input type="checkbox"/> 達成精度(実績精度)	都道府県間の流動量の平均的な信頼性として、信頼水準95%、相対誤差20%を確保することを目標値として設定している。前回調査(H27年度調査)の結果から、目標値を達成するための目標獲得サンプル数を設定した。	令和2年	約17.1万人	約16.5万人	約16万人
		<input type="checkbox"/> 回収率・回答率					
		<input checked="" type="checkbox"/> 回収標本数					
		<input type="checkbox"/> カバレッジ					
		<input type="checkbox"/> その他					
		<input type="checkbox"/> 設定なし					